

令和３年度事業報告書

令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで

人口減少・少子高齢化が進むとともに労働人口の減少は深刻な問題であり、地域社会の担い手として高齢者の果たす役割はますます重要となっています。

このような中で、シルバー人材センターの目的達成のため、高齢者に働く機会を提供し、高齢者の生きがいの充実や健康維持、社会参加の促進を図るなど諸事業に取り組んできました。しかし、令和３年度の当センターの事業実績は、会員数の減少や長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度と比較し減額の結果となりました。

今後も引き続き、新規就業の拡大を図るとともに、定期的に入会説明会を開催するなど会員を増やす努力が必要です。また、年間を通して安全・適正就業の推進、会員の資質向上等にも取り組んでまいりました。

（１）安全適正就業の推進

安全・適正就業推進員による就業現場の巡回指導を実施し、就業会員の安全適正就業に努めました。

安全委員会においては、事故０を目指して「就業者全体会議」、「植木剪定安全講習会」を開催するとともに、各会議等で安全啓発の時間帯を設け安全就業の徹底に努めました。

- ① １１月 ６日：植木剪定安全講習会を開催し、植木剪定作業の実技をしながら安全意識の高揚を図りました。（９名の参加）
- ② １１月 ２０日：シルバー就業者全体会議において「安全就業について」の教育を実施しました。（４０名の参加）
- ③ １２月 １７日：長生荘ボランティア清掃時に「安全作業」についての教育を実施しました。（３８名の参加）

（２）会員の確保

入会説明会を定期的に行うとともに、推進員による会員拡大や会員による声掛けにより、会員の確保を図りました。新規会員として９名の加入がありました。今年度の正会員数は１５２名で昨年度に比較し１６名減となりました。

入会説明会：６月２６日、８月２４日、１０月２６日、１２月１８日、２月６日の５回開催し会員確保に努めました。

（３）就業開拓の推進

推進員による訪問活動を実施するとともに、一人でも多くの会員にその希望と能力に応じた仕事ができるよう就業機会開拓の推進を図りました。

皆野町から指定管理者の指定を受けている「皆野町老人福祉センター長生荘」については、適正な運営を行いました。

(4) 財政基盤の安定

シルバー人材センターを運営していくうえで、財政面の安定は最も重要な課題です。事務・事業の効率化を図り、最少の経費で最大の効果が得られるよう諸事業について見直しを行うなど、運営に専心しました。

(5) 後継者の育成

技術班の会員を含め平均年齢が高くなっており、後継者の育成が急務となっています。就業の中でベテラン会員による新入会員の育成や、植木剪定安全講習会を開催するなど技術の習得に努めました。

(6) 会員の資質向上

会員の資質向上のため、「シルバー就業者全体会議」において、皆野町地域おこし協力隊（4名）を招き活動紹介を行いました。

その他、主な講習会は下表のとおりです。

期 日	内 容	場 所	人 員
7 月 28 日	長生荘消防訓練・救命講習会	長生荘	12 名
8 月 11 日	刈払機取扱作業安全衛生教育講習会	キャタピラー教習所（深谷市）	2 名
11 月 11・ 18・19 日	チェーンソー作業従事者特別教育講習会	埼玉県農林公園 農林センター（深谷市）	4 名

(7) 一般労働者派遣事業の推進

公益財団法人いきいき埼玉の実施事務所として、一般労働者派遣事業を推進しました。令和3年度は1事業所と労働者派遣個別契約書を締結しました。

(8) 社会参加の推進

会員が、次のボランティア活動等へ積極的に参加しました。

期 日	内 容	場 所	人 員
12 月 17 日	長生荘ボランティア清掃	長生荘	38 名